

## 2023年度事業報告

一般社団法人東京都バスケットボール協会  
専務理事 小西道雄

## &lt; 方針 &gt;

(公財)日本バスケットボール協会の理念「バスケットボールで日本を元気にします」を受け(一社)東京都バスケットボール協会も継続的な組織活性化・充実を目指した積極的な取り組みを推進していく！  
スポーツ界の透明性・公平・公正性の向上に向けた活動の推進の取り組み、バスケットボールを楽しむ人が増え、安全な競技環境を構築していく

## &lt; 活動状況と結果 &gt;

## 1. 財政面

新型コロナウイルス感染症が収束状況の2023年度多くの事業が活発に活動できた。特に強化事業の中心になっている国体選手派遣事業においては、成年男女、少年男女の四カテゴリーが鹿児島国体へ出場でき、総合力を発揮し、総合優勝ができたことは大きな喜びでもあり大きな成果の一つであった。然しながら収支については前年に続き単年度で△15,000kになったことは大いに反省すべき点であった。2024年よりJBAの我々に対する助成の仕組みが変更になることを受け、加盟する各連盟のみなさまと協議し登録費の変更というご協力をいただくことができ2024年度の向けては収支の改善に期待できる。

## 【収入】

前年実績と比較してすべての事業が改善傾向にあり経常収益では対前年比+12,800k。中でも、U12部会リーグ戦、U15部会リーグ戦、U18部会リーグ戦と各部会のリーグ戦が活発な活動を進めてきている。

## 【支出】

全ての事業が活発に動き出したことにより、競技会等の事業支出は対前年比+11,700k、普及事業は対前年比+2,600k、国体選手派遣・強化事業は対前年比+10,300kと各事業費が前年比増加になった。特に鹿児島で開催された国体選手派遣・強化事業においては四カテゴリーが出場したこともあるが大幅に増加した。総合優勝という嬉しい成果を上げることができたが予算策定を含めて課題の一つとなった。

## 2. 競技力向上事業(競技スポーツと生涯スポーツ)

### ①アンダーカテゴリー分野事業！

各カテゴリーともリーグ戦がより活性化している。U18のリーグ戦ではトップリーグからブロックリーグ都リーグが入替戦で連携できる体制作りが進みだし、2024年度より都リーグも準備ができてきた。U15では着実に参加チームが増えてチームの所属も部活動チームを中心にユース所属チーム、クラブ型チームと名実ともにアンダーカテゴリーが目指す活動になってきている。U12も含めて2024年度に向け更に参加チームが増えるとの報告もあり今後が楽しみな事業になってきている。

\*U15、U12の大会はスポーツ振興助成制度を利用し、大会への助成を受けての事業が開催できたことは関係者のみなさまのご協力に感謝したい。U18もスポーツ助成制度にチャレンジした年でもあったが実績が理解されず次年度再チャレンジとなったが、継続的に推進拡大していきたい。

### ②生涯スポーツの取り組み(楽しみながらバスケットボールができる環境づくり)

2024年度より登録制度の変更によるⅡ種登録が新設されることになり、本年度は、新登録制度のより、生涯スポーツとしてのバスケットボール競技を実施できる環境を増やすため従来登録をためらっていた方々に声をかけD-FUNDを活用して登録者への負担を軽減して大会を開催することを検討した。

## 3. 育成・強化事業整備

東京都協会が注力している強化事業の一つ国体派遣事業は、少年・成年全カテゴリーを通じて本国体に出場することを目指している。2023年の鹿児島国体においては2013年第68回東京国体(開催地)以来の総合優勝を獲得することができた。特に少年の部は中学生の選手も出場できる強化に適した大会になっている。今後も継続して強化事業として進めていきたい。

## 3. 年間表彰

- ①第6回全日本0-50社会人バスケットボール選手権大会男子優勝:neoうめや。
- ②第6回全日本0-40社会人バスケットボール選手権大会女子優勝:U+
- ③第6回全日本0-40社会人バスケットボール選手権大会女子第2位:MYC
- ④第6回全日本0-40社会人バスケットボール選手権大会男子第2位:neoうめや
- ⑤高松宮記念杯第6回全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップ女子2位:ミツウロコ
- ⑥高松宮記念杯第6回全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップ男子第3位:横河電機 WILDBLUE
- ⑦高松宮記念杯第6回全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップ男子第3位:新生紙パルプ商事
- ⑧第75回全日本大学バスケットボール選手権大会女子第2位:東京医療保健大学
- ⑨第75回全日本大学バスケットボール選手権大会女子第3位:拓殖大学
- ⑩第4回全国U15バスケットボール選手権大会男子第3位:サンロッカーズ渋谷U15
- ⑪特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」女子優勝:東京都代表
- ⑫特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」男子第3位:東京都代表

- ⑬日本スポーツマスターズ2023福井大会男子優勝:東京A neoうめや
- ⑭日本スポーツマスターズ2023福井大会女子第2位:東京 カプリコーン
- ⑮特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま大会」女子優勝:成年女子
- ⑯特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま大会」男子第2位:成年男子
- ⑰第10回3x3U18 日本選手権大会男子第2位:SIMON U18

以上